

小山桜花先生のお薦め本

『ちびまる子ちゃんの慣用句教室』 川島優

君からの返信、首を長くして待っていたよ！ え。どういう意味??

え…。首の長さを長くするためのストレッチでもして待っているってこと?!

こう思った人はいますか？ 残念。ちがいます。「首を長くする」は、「慣用句」のひとつであり、何かを非常に楽しみにして待つことを意味します。

これを使いこなせると超かっこいいですね。

このように、文字通りの意味だけではなく、特定の意味やニュアンスを持つことが多く、特定の言葉が固定された形で使われる表現のことを「慣用句」といいます。

この本は、慣用句の具体的な使い方が、まるちゃんの4コマ漫画になって紹介されていて、わかりやすく解説してくれているので楽しく慣用句を知ることができます。ぜひ読んで、1つからでもいいので慣用句を使えるようになってください。

この図書館だよりの次回号も首を長くして待ちましょう♪



↓ 慣用句どんな意味でしょう

- くぎをさす
- 骨が折れる
- 指をくわえる

❀ 新刊のおすすめ本 ❀



『かぶきもん』 米原信

江戸のアイドル三代目尾上菊五郎と七代目市川團十郎は、歌舞伎役者で宿命のライバルでケンカばかり。

四代目鶴屋南北は、二人に迷惑をかけられながらも歌舞伎の名作を書き続けます。

やっかいごとばかりですが、それでも芝居はつづく！
と言いたくなる愉快痛快な時代小説です。

『いとし、君へ。超訳日本の暦 24+72』 koto

昔の日本人は1年を24にわけて「二十四節気」(にじゅうしせっき)とよび、さらに72の季節にわけて「七十二候」(しちじゅうにこう)とよびました。この本は、72の言葉のそれぞれに、美しい写真と文章をそえた本です。



同じ作者の『いとエモシ』もおすすめです。